



泉大津市市民活動支援センター

おづぷらざ

vol. 14

【発行所】NPO法人いすみおづ市民活動ネット【発行日】平成 30 年 9 月 15 日

本でつなげる子どもと地域



ホンノワまちライブラリー
高島代表



浜助松自治会 山田氏



まなび愛広場



▼本好きが集まった 第4回まなび愛広場▲

6月24日に、泉大津市内で活動している団体の話を聞いて、参加者みんなで考える「まなび愛広場」は、「本でつなげる子どもと地域」というテーマで開催され、活動に本を取り入れていくホンノワまちライブラリー、浜助松自治会、りぶれEBSUの3団体が活動を発表しました。

定員を超える参加があり、「本と子ども」というテーマについての社会の関心の高さがうかがえました。

▼団体の取り組みを 聞いて考える▲

はじめに、「まちかど本箱」の普及による地域交流を進める活動をしているホンノワまちライブラリーの高島代表が、自身が地域とつながりたかったという活動のきっかけの話から現在に至るまでの活動を発表しました。



りぶれEBSU
大野委員長

続いて自治会館に「浜助松文庫」と名付けた図書コーナーを開設した浜助松自治会の山田氏が、図書コーナーを作った目的や、先に発表したホンノワまちライブラリーと協力して

会館の前に「まちかど本箱」を設置するまでの経緯と「おはなし会」の開催など、子どもを集める取り組みを発表しました。

最後に、土曜日に戎小学校の図書室を開放して子どもの居場所づくりと地域の世代間交流を進めているりぶれEBSUの大野委員長から、図書室を活用し、本を読む以外に、重視している子どもの工作体験や、遊びを通じて行う地域の高齢者と子どもとの交流活動についての発表がありました。

▼質疑もトークも 熱くなります！▲

発表後の質問や感想を述べるトークタイムでは「浜助松文庫を紹介したいが、絵本は何冊所蔵しているのか。」など活動を応援する質問や、「絵本は次の児童書に進む過程として大切だ。」「いや、児童書の前に漫画もあるよ。」など、本と子どもの育ちについて参加者の間で活発な意見が飛び交いました。

終了後のアンケートでも「知らない団体の話が増えてよかった。」という声が多く、発表した団体も「活動を知ってもらえて宣伝できることがうれしい。」との感想でした。まなび愛広場は回を重ねるごとに参加者が増えており、今後も団体活動の紹介を通じて参加者に「新たな気付き」が得られる場となるよう続けていきたいと思えます。



トークタイムで参加者からの質問に答えます

第10回

にんじんサロンまつり

「だれもが自分らしく生きられる社会をめざして」に参加!



男女共同参画のキャッチフレーズ応募作品の表彰式もありました



泉大津市は、男女共同参画社会についての学習と、情報交換や交流を深めるための仲間づくりのスペースとして、市立図書館の2階に「にんじんサロン（いずみおつ男女共同参画交流サロン）」を開設しています。

このにんじんサロンが、6月24日にテクスピア大阪小ホールで「第10回にんじんサロンまつり」を開催し、サロンで活動する各グループの発表では、おつぶらざの登録団体「オカリナキャロット」と「絵本の会ぼっかぽか」が演奏と活動発表をし、「輪をひろげる会」もパネル展示で活動を紹介しました。

発表後には、家事ジャーナリストの山田 亮さんが「人生いろいろ 夫婦もいろいろ いろいろがいろいろな活躍する社会をめざして」という演題で記念講演を行い、主夫としてキャリアウーマンである妻を支えた経験から、家庭における男女の役割分担など現代の夫婦のありかたについて語りました。



▼厳しい稽古で鍛えた華やかな大舞台▲
泉大津市で民謡を中心に普及活動が続いている「泉大津市フォークダンス連盟」が5月19日にテクスピアホールで、創立65周年記念大会の「民謡おさらい会」を開催し、大勢の観客を魅せました。
舞台の一部しか紹介できないのが残念ですが、連盟に所属する8団体の有志による「泉大津音頭」で幕を開け、36演目もの舞台を披露しました。鈴木光子連盟会長による「田原坂」の演舞の後は、出演者全員で「河内音頭」を踊って舞台を賑やかに締めくくりました。

泉大津市フォークダンス連盟 創立65周年記念大会

ここだけ「昭和」にもどったよう...

アルハンブラギタークラブ& アンサンブル・ルミエール ジョイントコンサート



6月3日に泉大津市役所前のイースホールで、アルハンブラギタークラブとアンサンブル・ルミエールのジョイントコンサートがありました。
はじめにアルハンブラギタークラブが、クラブの名前の元となった「アルハンブラの思い出」や海外ポップスなどをギター合奏で披露すると、アンサンブル・ルミエールはマンドリンとハーモニカ、ギターのアンサンブルで「大阪ラプソディー」など懐かしの昭和歌謡を中心としたレパートリーを演奏しました。
演奏プログラムには、アンサンブル・ルミエールのメンバーによるハーモニカの独奏もあり、クラシックから歌謡曲まで、肩ひじ張ることのない楽しい演奏で、満席の聴衆は昭和ノスタルジーにひたるひと時をすごしました。



がんばる市民公益活動応援補助金

交付団体が決定しました!

平成30年度の「がんばる市民公益活動応援補助金」の助成団体が決まりました。

今年度は市民公益活動事業補助に10団体の申請があり、厳正な審査の結果、右記の7団体と今年度から新設された人材育成補助に右記の2団体への助成金の交付が決定しました。

交付決定された団体には、この助成金を活用した活発な団体活動の展開が期待されますので、市民のためにその力を存分に発揮していただきたいと思ひます。

平成30年度交付団体

市民公益活動事業補助	こども体育あそびnet.
	松下食育農業塾
	特定非営利活動法人 泉大津市 和花
	アルザ通りまちづくり協議会
	泉大津市統合型地域スポーツクラブ OZUSポ
	泉大津市南公民館 キッズプロジェクト実行委員会
	つばさ国際交流クラブ
人材育成補助	泉大津市地域活性化研究会
	絵本の会 ぼっかぽか

西日本豪雨災害地へ

障がい者支援の募金活動



平成30年7月23日にNPO法人リアライズのメンバーが難波の百貨店前で大阪北部地震と西日本豪雨災害地の障がい者の救援募金活動を行いました。

今年の異常気象で日暮れでもなお厳しい暑さの中、大声で支援を訴えると、帰宅途中の足を止めて募金をしてくれる人が次々と現れました。

集まった募金は、障がい者支援活動を続ける「ゆめ風基金」を通じて被災地に届けられるとのもので、被災地の一日も早い復興を願ってやみません。

泉大津写真クラブ

第2回作品展



泉大津写真クラブの第2回作品展が8月3日から5日まで、あすとホールギャラリーで開催されました。

会員12名による24点の作品が展示され、美しい風景や、ともすれば見過ごしてしまうような一瞬を切り取った作品群は迫力があり、技術の高さが感じられる力作ぞろいでした。

泉大津写真クラブでは会員を募集中です。一緒に楽しく写真を勉強してみませんか？

人はなぜ失敗するのか？

失敗学入門講座

お知らせ

10月21日(日)

午前10時～12時



講師：平松雅伸氏

したくないのにしてしまうのが「失敗」です。そこで、人はなぜ失敗するのか？なぜ失敗は繰り返えされるのかなどについて

泉大津市在住でNPO法人失敗学会理事・大阪分科会長の平松氏に講演していただきます。

企業や団体の組織運営における失敗の原因と失敗を広げないための対処について事例を通じて失敗を明るく学ぶユニークな講座です。

15周年記念コンサート

条南若葉会



前号でも紹介した条南町老人会を中心とした合唱グループ「条南若葉会」が、5月20日に結成15周年記念の「未来へつなぐコンサート」を女性コーラス「ベベロッシ」と共にあすとホールで開催し、力強い歌声を披露しました。

これからも練習に励んで、歌で地域に元気と楽しさを届け続けてくれることでしょう。

[開館日] 木曜日～火曜日 午前9時30分～午後5時15分

[閉館日] 水曜日・祝日・年末年始

〒595-0025 泉大津市旭町22番45号 テクスピア大阪5階

[TEL] 0725(24)9016

[FAX] 0725(24)9017

E-mail oduplaza@outlook.jp

ホームページ <http://www.city.izumiotsu.lg.jp/oduplaza/index.html>

泉大津市市民活動支援センター
おづぶらさ